

2022年9月15日
三菱総研DCS株式会社

報道関係各位

三菱総研DCS、ランサムウェア対策ソリューションを提供開始 ～セキュリティ対策とデータ保護対策を総合的に提供～

三菱総研DCS株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：松下 岳彦）は、2022年9月15日より、セキュリティ対策とデータ保護対策を総合的に行える「ランサムウェア対策ソリューション」の提供を開始します。

■ 背景

近年、ランサムウェア被害は増加の一途を辿っており、IPAが毎年公開する「情報セキュリティ10大脅威(※1)」でも第1位として取り上げられています。ランサムウェアの被害に遭うと、重要な情報が窃取されることで、企業の信頼失墜に繋がるだけでなく、約半数の企業がシステム復旧と業務再開までに1,000万円以上の費用と1週間以上の時間を費やすという調査結果もあります。(※2) 加えて、ランサムウェアの攻撃手法や恐喝方法は狡猾かつ巧妙化しており、多角的・網羅的かつ専門性の高い対応が求められるようになっていきます。

(※1) IPA（情報処理推進機構） <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2022.html>

(※2) 警察庁統計調査 <https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/>

■ ソリューションの特長

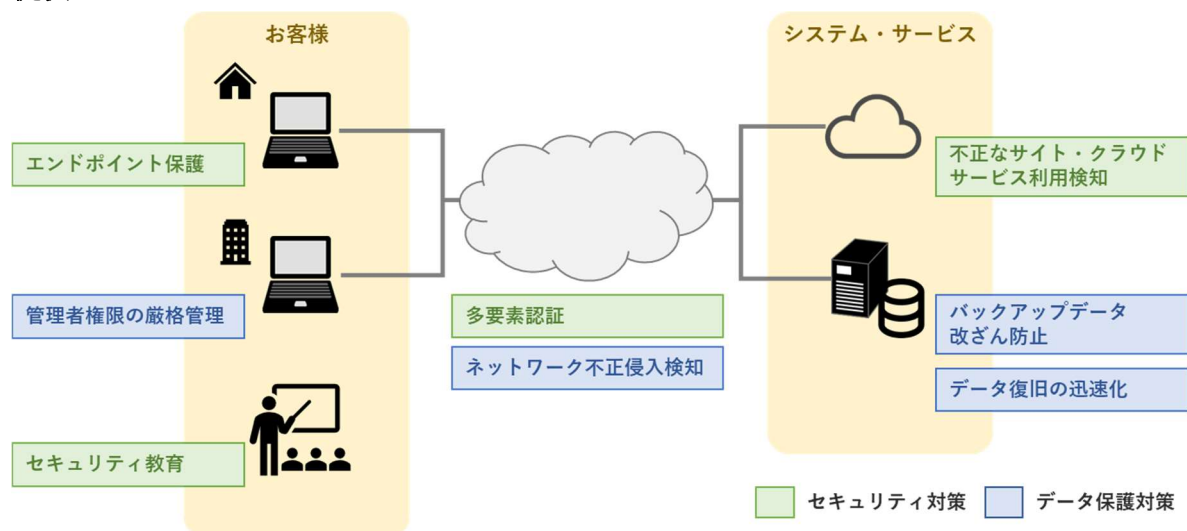
1. 感染予防の「セキュリティ対策」と被害を最小化する「データ保護対策」を網羅的に提供
多数のプロジェクトから得た専門的知見を活かした、侵入・感染までを防ぐ「セキュリティ対策」と、侵入後の被害拡大・データ盗取を防ぐ「データ保護対策」の両面で、ランサムウェアからお客様の大切なシステムを守ります。
2. ベンダーフリーの豊富なラインナップ
特定の製品/ベンダーに縛られることなく、豊富なソリューションラインナップを用意しているため、要件に合わせ最適なソリューションの選択が可能です。
3. コンサルティングから実装までワンストップで支援
現状分析や対策検討を行うコンサルティングから、設計・実装までを当社がワンストップで対応するため、お客様に必要な対策を総合的な視点から漏れなく実装できます。

■ ソリューションラインナップ

- ・エンドポイント保護と感染時の早期発見・原因調査
- ・セキュリティ教育

- ・不正なサイト・クラウドサービス利用の検知
- ・多要素認証によるアクセス権制御と不正アクセスの防止
- ・ネットワーク全体の不正侵入検知
- ・管理者権限の厳格管理
- ・バックアップデータの改ざん防止
- ・データ復旧（リストア）の迅速化

■ 提供イメージ



コンサルティングから設計・実装までワンストップで対応します

■ 「ランサムウェア対策ソリューション」サービスページ

<https://www.dcs.co.jp/solution/ransomware/index.html>

■ 三菱総研DCS株式会社について

三菱総研DCSは、1970年の創立以来、銀行・クレジットカード等金融関連業務で豊富な実績を有するIT企業です。2004年からは、三菱総研グループの一員となり、シンクタンク～コンサルティング～ソリューション～BPOの一貫したバリューチェーンをご提供できる日本でも数少ない企業集団として、お客様の企業価値向上の実現に取り組んでいます。

<https://www.dcs.co.jp>

■ 問い合わせ先

三菱総研DCS株式会社 〒140-8506 東京都品川区東品川四丁目12番2号

・当サービスに関して クラウドテクノロジー部 クラウド推進グループ

E-mail: security-biz@dcs.co.jp

・当リリースに関して 広報部

TEL:03-3458-8214 E-mail: kouhou@dcs.co.jp